

令和4年度第1回学校運営協議会 報告書

- 1 日 時 令和4年5月31日(火) 13:00~14:55
- 2 場 所 会議室
- 3 出席者 **【学校運営協議会委員】** 14名
- | | |
|-------|-----------------------|
| 佐々木 剛 | 岩泉町教育委員会教育次長 |
| 藤田 知彦 | 岩泉高校校長 |
| 新田 義修 | 岩手県立大学 総合政策学部 准教授 |
| 佐々木 章 | 経済観光交流課長 |
| 佐藤 幸一 | 岩泉町国内外研修交流事業運営委員会委員長 |
| 平坂 聡 | 田野畑村教育委員会教育次長 |
| 立花 春男 | 小川地域振興協議会会長 |
| 山下 欽也 | 岩泉ホールディングス株式会社代表取締役社長 |
| 熊谷 浩 | うれいら通り商店街 会長 |
| 松永 充信 | 岩泉フォレストマーケティング |
| 茂木 素子 | つぴたあれいわいずみ |
| 鈴木 悠太 | NPO 法人クチェカ |
| 鈴木 雅孝 | 岩泉中学校 校長 |
| 阿部 吉行 | 岩泉高校PTA会長 |

【学校職員】 8名

- | | |
|-------|--------|
| 松田 隆宏 | 副校長 |
| 藤井 聡 | 事務長 |
| 阿部 恵子 | 総務主任 |
| 高橋 栄一 | 教務主任 |
| 板屋 信良 | 生徒指導主事 |
| 坂本 千尋 | 進路指導主事 |
| 梅木 浩幸 | 総務課 |
| 小竹 光 | 総務課 |

4 会議次第

* 委嘱状交付

- 1 開会のことば
- 2 校長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 会長選出
- 5 学校概況説明
 - (1) 昨年度の重点目標および取組状況について
 - (2) 岩泉高校学校経営計画について
 - (3) 学校概況説明（教務・生徒・進路）
- 6 協議
 - (1) スクールポリシーについて
- 7 意見交換・質疑応答
- 8 その他
- 9 閉会のことば

5 会議の概要

(1) 校長挨拶

現在県内では、学校運営協議会を設置し地域と学校が連携し生徒を育てる事業を行っています。しかし、通学範囲が小中より広い高校では導入が遅れている現状があり、県内63の県立高校のうち昨年までに実施したのは6校のみでした。本校での開催は比較的早い段階での実施となります。一方で、岩泉の小学校、中学校では学校運営協議会の設置が県内で1番早く平成19年に立ち上げられています。岩泉町の設置理由には以下の内容が示されています。岩泉町は地元出身の教職員が少なく、地域をよく知らない教職員が多くいる。そういった教職員のために地域と学校が連携し、地域をよく理解してもらうことで、指導の充実につなげたいという狙いがある。

現在岩手県では岩手高校魅力化ふるさと創生事業を立ち上げ、地域と学校が協働した魅力ある学校づくりを目指しています。本日お集りいただいた岩泉町を代表する方々に、ぜひお力を貸していただき、高校魅力化を図っていきたいと思います。

(2) 昨年度の重点目標および取組状況について

・授業、家庭学習の充実については目標を達成している。特に、進路意識の高い3年生で高評価を得た。進路に応じたコース制や一学年における習熟度学習を通し、今後教育活動を充実させていきたい。

- ・開かれた学校づくり及び高校魅力化の推進についても高評価だった。中学校の旧担任の先生を呼んだ中高交流会や一日体験入学など今後も継続して行きたい。
- ・進路実現の指導の充実とキャリア教育の推進については目標達成できなかった。就職については100%と良好だったが、4年制の国公立大学の合格者が0人だった。4年制大学の志望から専門学校へ進路変更した生徒もいた。
- ・学校いじめ対策組織の取組を中心としたいじめの防止についても例年より評価が低く出ており、目標を達成できなかった。アンケート時期に、いじめ関連の話題があったことが原因かもしれない。
- ・教職員の不祥事の未然防止についても達成できなかった。不祥事があった。生徒への説明及び保護者説明会を行った。県から心のケアに関する人員派遣の話もあったが、希望者はいなかった。現在、生徒は落ち着いた状態で生活できている。

(3) 岩泉高校学校運営計画について

- ・岩泉町から寮費や寮生徒の帰省旅費、模試の費用など多額の支援を受けている。町からの期待に応えるためにも、生徒の進路実現に向けた指導を充実させたい。
- ・開かれた学校づくりのため、今年度は地元の中学校との連携を益々充実させていきたい。
- ・来年度以降は重点目標の項目に、復興教育の推進を盛り込みたいと考えている。

(4) 学校概況説明

教務課

- ・過去3年間の入学者試験の出願状況について、募集定員80名に対し半分程度の志願者数で推移している。40名以上の生徒数を確保することが課題であり、中学校への魅力発信に努めたい。

生徒指導課

- ・野球部、サッカー部については他校との連合チームにて大会に参加している。
- ・郷土芸能同好会は昨年度、オリンピック聖火リレーの出発式にて演舞を行った。また、岩手県高等学校総合文化祭 郷土芸能部門発表会において優秀賞1席となり、今年の8月に全国大会へ出場する予定。
- ・いじめアンケートについて、いじめの定義が変わってきている。物を隠す、からか

う、嫌なあだ名をつけるといった内容も現在では重大案件となる。ネットや SNS の使い方の指導についても教員自らが行い（以前は外部講師にお願いしていた）、生徒の実態に即した指導に努めている。

- ・部活動再編について、生徒数の減少や入部が任意加入となっている点を念頭に入れ考えていく。中学校や協会の方々と連携しながら検討していきたい。

- ・魅力化について、あいさつや礼儀を徹底できるよう、校則や校内ルールを生徒自ら検討している最中である。

- ・泉高祭について、過去にうれいら通り商店街などで郷土芸能同好会が演舞していたように、地域と連携した活動もできればと考えている。

進路指導課

- ・国公立大学への輩出ができなかった。1年次からの取組が重要になると考える。私立大学に切り替え頑張った生徒もいた。県外に出て行った生徒も、将来は岩泉に戻って地域で活躍したいという生徒が多い。そのような生徒に応えていけるよう今後も指導していきたい。

(5) 協議 スクールポリシーについて

- ・学校の取組を外部にわかりやすく伝えるため学校毎に設置している。現在素案となっており、検討委員会を設けて策定していく。

- ・グラデュエーションポリシーは育成を目指す資質・能力、カリキュラムポリシーはどのような学びを行うか、アドミッションポリシーはどのような生徒を求めているかを基に考えている。

【委員】連携先の所に、岩泉町役場政策推進課を入れていただきたい。KIZUKI を応援していきたい。また、KIZUKI の発表の場を設けていただきたい。

【職員】学校としても町民の皆さまに発表を見せたいと考えている。町民会館でできない場合も、ネットを介した発表など、やり方を検討したい。

【委員】連携先の所に OB 会のようなものを加えると良いのではないかと。公務員になって地域貢献したいという声をよく聞くが、公務員以外でも地域に貢献している企業はたくさんある。そういった方々の声を聞くのも大切。

【職員】次回の運営協議会までに連携先を検討し、お示ししたい。

【委員】 グラデュエーションポリシーの内容が地域貢献の観点で2つある。1つにまとめることで、もう1つ作れるのではないか。確かな学力に関する記述を盛り込むと良いのではないか。

【職員】 貴重な御意見ありがとうございます。様々な御意見を参考に検討していきたいと思います。

(6) 意見交換・質疑応答

【委員】 今後の運営協議会の日程について教えてください。

【職員】 今年度は年2回、2回目は2月頃を予定。来年度は年3回の実施を検討中。

【委員】 職員の不祥事再発防止はどのようにするのか。

【職員】 職員が不祥事を起こす場合、まずは校内研修を行い、改善の余地が見られない場合、その後総合教育センターでの研修を行うこととなっている。今回は前任校での不祥事もあり、改善が見込まれないということで、あのような処分となったと思われる。今後このようなことが起きないように、校内研修を強化したい。

【委員】 退学も複数出ているようだが、いじめが関連したものはあったか。

【職員】 いじめが原因で退学した生徒はいない。これまでの退学の例として、中学時代から不登校傾向の生徒、長期入院による退学、体調不良で長期欠席した生徒などが挙げられる。

【委員】 岩泉を案内するガイドについて、高校生の中でやってみたいという生徒がいればお願いしたい。

【委員】 寮の食事について、献立表があると助かるという意見を聞いている。管理栄養士さんに献立を作っていただければありがたい。